

# きたかみ未来創造会議

## 創造NEWS 第10号

2009.11.9  
第10回会議  
『目指すべき  
将来の姿』  
を考えるの巻

今回からきたかみ未来創造会議の第2幕、いよいよ基本計画策定に向け、本格的な議論がスタートしました。

### ■第10回「きたかみ未来創造会議」の概要

目指すべき将来像の実現に向け、市民が創るまちづくりの指標作成に向けた検討が始まりました。今回のテーマは「北上市の目指すべき将来の姿」を考えるです。

基本構想の策定に当たり、検討してきた内容をふりかえりながら、まちづくりの目標を「より具体的なかたち」にしていく作業を行いました。

グループワークでは、まずはじめに、きたかみ未来創造会議の第2回と第5回の内容をふりかえりました。

その後、これまでの議論を踏まえた「北上市の目指すべき将来の姿」の説明文を加筆、修正する作業を行いました。

今回は、さまざまな視点から「目指すべき将来の姿」を検討するため、昨年度とは違う班編成で実施しています。グループワークにおいても、「本当にこれでよいか」という部分で悩み、これまでの議論の整理も含め、かなり苦戦することとなりましたが、さまざまな角度からいろいろな意見が出されました。この検討は「どのようなまちになればよいか」その具体的な姿を皆さんと共有し、今後、それを評価していく指標を作成するためにも、大変重要な内容となっています。

次回も「北上市の目指すべき将来の姿」をさらに深めて検討するとともに、分野を超えた意見交換も実施しながら、目指すべき将来の姿を具体的に表現していく予定です。

これからの議論は、より深く、そしてより具体的になってきます。次回も、真剣に、そして楽しく、きたかみの目指したい将来の姿を考えてみましょう。

次回も、よろしくお願いします。

### <次回案内>

- 日時：12月1日（火曜日）18：30～
- 場所：北上市役所5階会議室  
（市役所地下1階夜間受付入口よりお入りください）

### <皆様にお願ひ>

次ページ以降の内容を、次回までにご確認いただき、各分野ごとの「目指すべき将来の姿」に対しての修正意見の作成をお願いします。別紙シートにご記入の上、当日ご持参くださいますようお願いいたします。



検討内容の説明



これまでの議論との照合



班での意見交換



検討の中間報告

## <<分野別の検討結果>>

### 分野：保健福祉

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

- A1 出産に対しての不安がなく、だれもが安心して子供を産める  
やわらぎ 産むことができる
- A2 出産・育児に対しての経済的負担が少なく、子供達が健康に暮らせる  
不安
- A3 保育環境が整い、だれもが安心して子供を育てられる  
働きながら子育てしやすい保育環境
- A4 育児相談が気楽にできる環境が整い、地域とともに責任をもって子どもを育てられる
- A5 だれもが必要な支援や福祉サービスを受けられる  
年をとっても、障がいがあっても必要に応じて
- A6 高齢者が身体的、精神的に健康で生活を送り続けることができる
- A7 障害者が自立した生活を実現できる環境がある  
が  
A8
- A9 積極的な疾病予防と医療機関との連携によって多くの市民が健康な生活を送れる  
健康づくりと疾病予防 意欲的に暮らすことができる
- △ A10 医療機関の連携によって、状況に応じて適切な医療サービスを受けられる  
A11
- A12 地域でそれぞれの生活を支え合い、誰もが安心して暮らせる  
互いに知恵を出し合い協力し、
- △ A13 身体的・社会的・経済的などあらゆる困難に陥ったときに安心して話せる  
・困ったときに 話することができる  
・出会った時、ぶつかった時  
A14

- ・黒字は当初の事務局案を指します
- ・赤字は、変更後の文章になります。
- ・青字は、変更前の意見、付け足しの意見です。
- ・文頭の記号は 「○ ⇒ このまま・変更後の案でOK」 「△ ⇒ 検討途中」 です。

### <変更の解説・当日の発表から>

[保健福祉]分野です。まず最初が、A1・A2・A3が[みんながすこやかに子育てできるまち]ということで、まずA1なんですけれども、文言の修正ぐらいということで、出産に対しての不安がなくというよりも和らげるという風に重点を置いた方がいいのではないかとということで、[不安が和らぎ、だれもが安心して子どもを産むことができる]、に直しました。

A2なんですけれども、A1で出産のことを言っているので、ここは育児というところに焦点を絞った方がいいだろうということで、[出産]は消させていただきました。[育児に対しての経済的]ここは[不安]という風な言葉がいいだろうということで[経済的不安が少なく、子どもたちが健康に暮らすことができる]という風にいたしました。

そこでA3なんですけれども、最初は[保育環境が整い、だれもが安心して子どもを育てられる]ということだったんですけれども、この子育て環境のところで、社会的というか働きながら子育てができるというところの視点が抜けてるなということで、じゃあここに入れようということでこの文言の前に[働きながら子育てしやすい保育環境]ということで入れてみました。

もう一つなんですけれども、追加ということでですね、育児相談という視点を入れた方がいいんじゃないかということで、[育児相談が気楽に出来る環境が整って、地域とともに責任を持って子どもを育てられる]、この[責任]という文言もちょっとキーワードで入れた方がいいんじゃないかという声が出ました。

次に、A5なんですけれども、最初は[だれもが、必要な支援や福祉サービスを受けられる]ということになっていたんですけれども、ちょっと広すぎるんじゃないかというか拡散している感じがあるので、ここで言いたいところの高齢者・障がい者ということで、歳をとっても障がいがあっても必要に応じて支援や福祉サービスを受けられるという文言にしました。

A6は大体そういうこと、そのまま、[送り続ける]を[送ることができる]ということでした。

A7も、障がい者の文字を統一した方がいいだろうということです。

次にA9、A10ですね、医療と健康づくりということで、A9、A10[医療機関の連携]という言葉が重複していたので、それをA10の方に統一をしました。

A9の方は、健康づくりということだと思われるということで、[積極的な疾病予防]という点と[健康づくり]という言葉を入れたいということで入れたのと、[多くの市民が意欲的に暮らすことができる]ということでしました。

A10なんですけれども、[医療機関の連携]とあるんですけれどもどんな連携がいいのかというところが議論になりまして、そこはちょっと結論が出ませんでした。医療機関のどんな連携によって適切な医療サービスが受けられるのかというところをちょっと考えたかったということです。

A12なんですけれども、支え合いというか地域福祉というA12・A13ということですが、[地域で互いに知恵を出し合って協力して、誰もが安心して暮らせる]と。A13はちょっと結論が出なかったところです。

## 分野：教育文化

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

- B1 特色ある教育の実践と進学への支援により、優秀な人材が生まれている
- B2 地域・家庭の連携により、誰もが学べる学習環境が整っている  
子どもたちが生き生きと
- B3 教育の質が向上し、高等教育機関が創設されている
- △ B4 さまざまな知識・経験を持つ人材による、質の高い生涯学習を受けられる
- △ B5 より多くの市民が生涯学習を受けることによって、より豊かな生活を送っている
- △ B6 市民自らが生涯学習の機会を創出し、多くの生涯学習事業を受講できる
- △ B7
  - ・各分野のリーダーが協力、連携し合い、全体を高めあっている
  - ・世代間の交流が活性化し、知識や知恵が生活に活かされる
  - ・先端技術が学べる教育場所が必要
- B8 誰もが健康や競技など、それぞれの目的にあったスポーツを、目的にあった指導により実践することができる
- △ B9
- B10 守り育ててきた民俗芸能や文化財の価値を市民が理解し、次世代につなげることができる
- B11 市民誰もがさまざまな文化活動に触れる環境が整い、北上らしい文化的生活を送ることができる
- B12 さまざまな国際文化に触れる環境が整い、さまざまな価値観を受容し、さまざまな文化と交流できる人材が育っている
- △ B13 質の高い（高度）芸術の保存

- ・黒字は当初の事務局案を指します
- ・赤字は、変更後の文章になります。
- ・青字は、変更前の意見、付け足しの意見です。
- ・文頭の記号は 「○ ⇒ このまま・変更後の案でOK」 「△ ⇒ 検討途中」 です。

＜変更の解説・当日の発表から＞

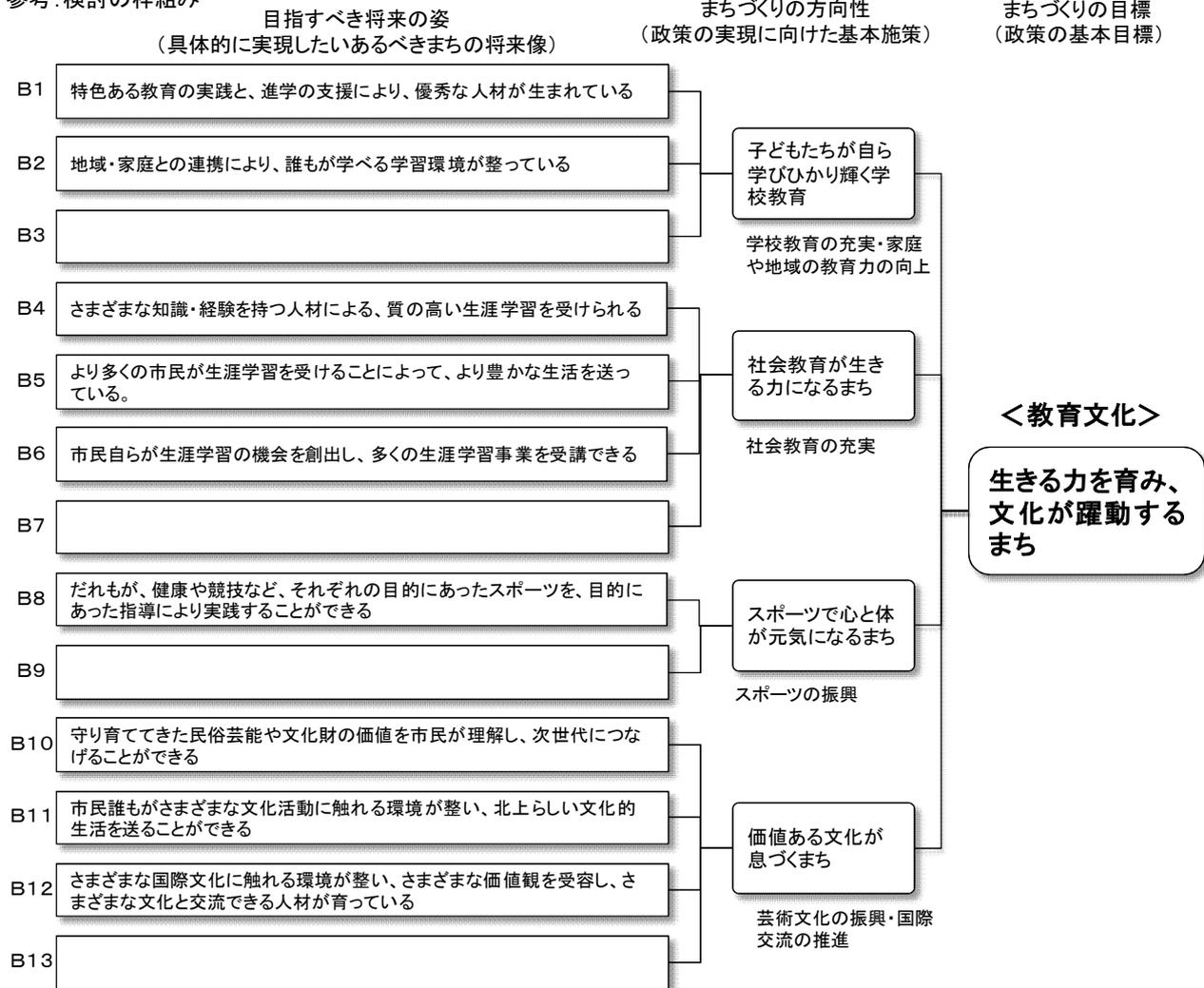
F班は[教育文化]について検討しました。ここのB1からB3番目までは、子供たちが自ら学ぶ云々ということで子供の教育のことなのですが、B1、B2は若干文言を変えましたがオーケーで、3として新しく[教育の質が向上し高等教育開発が実施されている]というのを入れました。

ここでは入りませんでしたけれども、学力向上だとか教育の質を向上ということと同時に、子供たちの学力以前のしつけどとか社会常識だとかに懸念する声が出ました。

それからBの4からB8までですけれども、これは社会教育に関する文言で、△がずらっと続いたのは生涯学習のことがここ3つつながっているんですけれども、なかなかこれがうまく納得できないけどもいいものも思いつかないという状況でした。

あとB8についてはいいんじゃないかということでOでした。それから最後の3つですけれども、文化に関することですが、これについてはいいんじゃないんですかということでした。

参考:検討の枠組み



## 分野：産業雇用

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

- △ C1 農業・商業・工業が特徴を活かした連携をおこない、持続可能な発展をする  
多様な発展を続ける
- △ C2 農業・商業・工業が特徴を活かした連携によって、魅力がある職業が生み出されている  
職場
- C3
- C4 それぞれの商店が独自の魅力と資源の組み合わせにより、商店街がにぎわっている  
発想 魅力ある商店街をつくり出している
- △ C5 北上独自の産業構造が構築され、安定した産業・雇用形態が形成されている  
独自である必要はない。永続的である方が重要
- △ C6 歴史、自然、産業など様々な資源を活かした、通年型観光の仕組みが構築され、まちがにぎわっている  
ている。  
幅広い観光では北上は向いていない。ユアターゲットが重要
- △ C7
- C8
- C9 市民が農業の大切さを理解し、地域全体で農業を支え、安心安全な食料が提供する仕組みが構築される  
される されている
- C10 農業所得が向上し、多くの就農者が生まれ、安定的な農業経営ができる環境がある  
新たな  
人口減の社会で多くは望めない。後継者の方が良い
- C11
- C12 さまざまな先端技術の教育が受けられる環境が整っている
- C13 産業分野で活躍できる人材が育成され活躍することによって、地元産業が発展している  
産業分野で活躍できる人材が育成され、地元産業が発展している
- C14

- ・黒字は当初の事務局案を指します
- ・赤字は、変更後の文章になります。
- ・青字は、変更前の意見、付け足しの意見です。
- ・文頭の記号は 「○ ⇒ このまま・変更後の案でOK」 「△ ⇒ 検討途中」 です。

### <変更の解説・当日の発表から>

できてある文章を新しく作り直すというのはなかなか難しいので、主語と述語の並びとか時空の変更という感じとなりました。

C1は[農業・商業・工業が特徴を活かした連携をおこない、多様な発展を続ける]。C2は[農業・商業・工業が特徴を活かした連携によって、魅力がある職場が生み出されている]、と直したんですが、このC1とC2、[農業]から[連携]まで全く同じ表現になっているので直したかったんですが、どう直したらいいかまでの結論には至りませんでした。

C4は[それぞれの商店が独自の発想と資源の組み合わせにより、魅力ある商店街を作り出している]。C5が[北上独自の]、ここですが、この[北上独自の]というのが[独自]である必要はないのではないかという意見ですが、どう直すかまでは結論に至らなかったため△の検討中としています。

C6は[さまざまな資源を活かした、通年型観光の仕組みが構築されている]。このC7に△付いてますが、北上の特徴を活かしたとか、ターゲットを絞った観光というところが抜けていて、新たに文章入れたかったんですが、どういう文章にすればいいかまでは完成に至りませんでした。

C9は[市民が農業の大切さを理解し、地域全体で農業を支え、安心安全な食料が提供される仕組みが構築されている]。C10は[農業所得が向上し、新たな就業者が生まれ、安定的な農業経営ができる環境がある]。C12はそのままいいことにしました。C13は[産業分野で活躍できる人材が育成され、地元産業が発展している]。

ということで以上です。

## 分野：生活環境

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

- D1 北上の自然を市民が共通の財産としてとらえ、それを次世代につなげることができる
- D2 里山・農村などの整備によって、自然と生活の共生を維持することができる  
保全・整備
- D3 公害のない安全なまちとなっている  
住み良い
- D4 ~~化石燃料に依存しない、低炭素社会の構築~~に向けた仕組みが構築されている  
新エネルギーの取組などにより、CO<sub>2</sub>の削減
- D5
- D6 さまざまな資源を有効活用できる循環型の社会環境が整っている  
↓合体
- D7 市民、企業、行政それぞれがごみを生まない環境ができている  
3Rなどごみ減量に取り組み、循環型の社会が形成されている
- D8 ~~不法投棄のない、清潔なまち~~になっている  
ごみに対するマナーが守られ、きれいな
- D9
- D10 ~~地域・家庭~~の連携によって、市民誰もが安心して安全に住める  
地域・家庭・学校
- D11 さまざまな防犯体制の連携によって、犯罪のないまちになっている
- △ D12 防犯のための組織・連携構築と、災害に強い施設設備の充実によって市民の生活を守る  
・自助、共助、公助による防犯体制が構築され、地域の安全が守られている  
・公共施設や住宅の耐震化が進められ、地震に強いまちが構築されている
- D13 市民の防災意識の向上によって、どのような災害においても  
防犯・防災 市民自らが生活を守ることでできる環境がある
- △ D14 地域で災害発生ポイントが共有（周知）され、安全な避難経路や避難施設が平時から理解されている

- ・黒字は当初の事務局案を指します
- ・赤字は、変更後の文章になります。
- ・青字は、変更前の意見、付け足しの意見です。
- ・文頭の記号は 「○ ⇒ このまま・変更後の案でOK」 「△ ⇒ 検討途中」 です。

### <変更の解説・当日の発表から>

E班は[生活環境]なんですけれども、見たとおりですね、ほとんど赤ペンで入っています。オッケーだった所はD1でした。

あと大きく変わった所だけ説明させていただきたいと思いますが、D4に[化石燃料に依存しない、低炭素型社会の構築に向けた仕組みが構築されている]という所を大きくというか変えてみました。[新エネルギーの取り組みなどによりCO<sub>2</sub>の削減に向けた云々]という風に変えさせていただきました。続いてD6とD7、1個でOしてますが、これは合体してみました。

合体してできた文章が[市民、企業、行政それぞれが3Rなどごみ減量に取り組み、循環型の社会が形成されている]という風になりました。

あとD8なんですけれども、ここはちょっと深く討論したんですが、[不法投棄のない、清潔なまちになっている]という所を[ごみに対するマナーが守られ、きれいなまちになっている]という風に変えました。あとD10は[学校]がプラスになった所です。

あと残りの△の所は今現在検討中という所で、あと最後ですが、D13の所は、当初D13は防災関係だったんですけれども、防犯も同じく市民の自主防犯意識の向上が大事だろうということで、D13は[防災]にプラスして[防犯]という文言を入れて考えてみました。

E班は以上です。

## 分野：基盤整備

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

- △ E1 身体的・社会的などの背景が異なる市民誰もが不自由なく社会サービスを楽しむことができる  
すべての市民が、快適に暮らす居住環境
  
- E2 ひとにやさしく心地よく歩けるまちづくり
  
- △ E3 生活と産業を支える安心な上水道サービスが継続的に行われている  
産業振興を図る安定した上水道の供給
  
- △ E4 既存下水機能の利活用によって、快適な生活環境が形成されている  
未整備の下水道地域を整備し、快適な生活環境を形成する
  
- E5
  - ・市民においしい水道水を提供する
  - ・すずの整備<自然環境>
  
- △ E6 交通拠点との効率的な道路の整備によって生活・産業を支える道路ネットワークが構築されている  
を目指したまちづくり  
道路・歩道整備により、安全な道路環境、ネットワークの構築を目指す
  
- △ E7 効果的な除雪や道路補修により、安全な道路環境が構築されている
  - ・除雪は<生活環境>に入れてもらう
  
- △ E8 高度情報サービス網の整備によって、市民が生活機能の維持・充実をはかれる
  - ・市民の生活環境や産業振興の充実を図る
  - ・情報化（IT化） 公共交通 道路、鉄道、バスを分ける
  - ・IT化によるモラルハザード 教育、しつけ
  
- E9
  
- △ E10 持続可能な公共交通と地域での補完的交通により、市民誰もが快適に生活できる
  - ・公共交通（コミュニティバス）の整備
  - ・ボランティア輸送のことか？
  
- E11
  
- △ E12 自然と都市のバランスの取れたまちづくりによって持続可能な都市構造が整っている
  - ・自然と都市が調和した、まちの構築
  - ・充実した地域コミュニティの形成を図る

△ E13 各地区と中心市街地の連携によって、市民誰もが生活に必要なサービスを楽しむことができる  
・賑わいのある中心市街地の活性化

E14

- ・黒字は当初の事務局案を指します
- ・赤字は、変更後の文章になります。
- ・青字は、変更前の意見、付け足しの意見です。
- ・文頭の記号は 「○ ⇒ このまま・変更後の案でOK」 「△ ⇒ 検討途中」 です。

#### <変更の解説・当日の発表から>

見ていただくとわかりますが、全部ほとんど青です。ですが、まだまとまっておりませんので全部△になっております。ですので、こちら辺の詳しい話は次回ということになるかと思いますが、唯一○がついていますE6につきましては、最後の所だけ[何々を目指したまちづくり]と変えたらどうかということで一応まとまっています。それから除雪の話があったんですが、ここではなくて[生活環境]にもどしてもらった方がいいのではないかと出ました。

E3、E4について水道の話で、上水道・下水道の話が書かれていたんですが、これは上・下水道一緒にして、産業と生活と分けて書いた方がいいんじゃないかという話が出たんですが、そのなかで清水の保全や整備のことも考えた方がいいのではないかと出ました。ただこれは[基盤整備]の方ではなくて、他の所でやってもらった方がいいんじゃないかという話が出ています。

あとですね、黄色いかけの話なんですが、IT化に関してはですね、公共交通と一緒にしているのでこれはちょっと別々にしたほうがいいんじゃないかと思います。

本当は資料①の右側はいじっちゃいけないという話なんですが、ずいぶんこちらの方に不満が出ましてですね、そういう話もありまして、IT化の所ちょっとおかしいんじゃないかとか、あとIT化によるモラルハザードについては教育の方で話し合っただけませんかという話が出ました。

あとE10の所ですが、[みんなで支える交通サービスのあるまち]というのが大きなテーマになっているんですが、[みんなで支える交通]というのがよくわからなくて、例えばボランティアによる輸送のことなのかとか出ました。いずれにしろ一応全部青で新しい文言を考えたんですが、今のところまだ確定はしていないという状況です。

以上です。

## 分野：推進体制

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

F1 市民・企業・行政・議会がそれぞれの役割を理解し、それを果たすことができる

自治における役割

- ・それぞれの役割を理解し、それを果たすことのできる枠組みが構築されている
- ・自治の基本的ルールを

F2 多くの市民がまちづくりに参加し、持続可能で質の高い公共サービスが社会に提

世代

を自主的に進め、より満足感のある社会をつくる

供されている

- ・市民みずからが
- ・取り組みたくなる

F3 世代間のかきねを取りはらう

- ・働き盛の年代の人材育成を意識
- ・地域間の交流、地域間の情報共有

○ F4 それぞれが特色を活かした地域づくり活動を実践することで誇りと愛着をもった地域が形成されている

○ F5 活発な地域活動により生活機能が維持され、持続可能な地域社会が形成されている

F6 企業や他地域と連携し、更なる地域活動の充実が図れる

- ・企業の地域への貢献（もしくは地域へのアプローチ）
- ・ボランティア精神、助け合い
- ・ボランティアのメリット、やりがい

○ F7 市民・企業・行政がそれぞれの立場を理解し、責任と役割のもとに、互いの長所を活かした事業ができる

F8 多くの協働により、公的なサービスが充実し、公共サービスの質が向上している

質の高い公共サービスが提供できる

- ・安心・安全 おちつける

F9

F10 限られた資源（人員、予算）を有効に使うために、積極的な情報開示と検討の場の創出によって市民が共感を持つ公的サービスが実現している

- ・みんなで情報共有し、いっしょに話し合える場をつくることによって、市民が共感をもつ公的サービスが実現し、限られた資源（人員、予算）を有効に使うことができる
- ・危機的財政状況（こかつ）

- ・低成長のまちづくりモデル（あるものいかしているんな資源を）
- ・話し合いと情報開示は資源・財源の有効活用と区別

△ F11 多様な主体が公的サービスの計画・実施・評価について対話を持つことによって、持続可能な社会の仕組みが構築されている

- ・全体をみて（インフラを整備）計画を考える

F12 みんなで情報を共有し、一緒に話し合える場をつくることによって、市民が共感をもつ公的サービスが実現し、限られた資源を有効に使うことができる。

△ F13 施策優先度と市民ニーズの反映によって、持続可能な公共サービスを提供できる財政基盤が構築されている

- ・的確なサービス
- ・公共サービス。担い手と扱うサービスの分担
- ・活動のあとおし。行政が。

△ F14 自立した資金づくりが進められている

○ F15 効果的で持続可能な公共サービスの実現のために、国・県・他市町村と効率的な役割分担の仕組みが構築されている

F16

- ・黒字は当初の事務局案を指します
- ・赤字は、変更後の文章になります。
- ・青字は、変更前の意見、付け足しの意見です。
- ・文頭の記号は 「○ ⇒ このまま・変更後の案でOK」 「△ ⇒ 検討途中」 です。

#### <変更の解説・当日の発表から>

A班の[推進体制]です。

まず[みんなが参加するまち]という中身で、[多くの世代がまちづくりを自主的に進め、より満足感のある社会を作る]という風な形にしました。次に[地域が元気なまち]というところについて、とばします。次に[多様な主体が協働するまち]ということで、[多くの協働により、質の高い公共サービスが提供できる]という風にしました。そして、[「何のために、誰のために」をよく話し合うまち]、よく話し合うかということについて書いております。[みんなで情報を共有し、一緒に話し合える場を作ることによって、市民が共感を持つ公的サービスが実現し、限られた資源を有効に使うことができる]という風にしました。それをF10で言いましたが、F11以降はですね、まだ検討したいという風に思っています。次回の宿題とさせていただきます。

以上です

## <ふりかえりカードから>

- 1 ステージで携わった方が出席されなかったので言葉を理解するのが大変だった。時間が短い。もっと議論が必要。
- 作業の趣旨（狙い）をつかむまで時間がかかってしまった。反省。今回の作業で次回はスムーズに取り組みそうです。
- 事務局案の将来の姿を確認するのに精一杯で、まちづくりの方向性を実現するのに必要なすべての項目を考える所には至らなかった。
- 言葉を探るのがとても難しかったです。次回、さらに深まると思いますので期待します。
- 目標と方向性をきちんと合わせながら考えたのか、問われると自信がありません。次回はもう少し丁寧に取り組みたい。
- 皆様の温かい心使いによって、進めさせて頂きました。ありがとうございます。まだ不慣れで、慣れるのに精一杯ですが、これからもよろしくお願いします。
- グループごとの話し合い時間が少ない。開会を早めては。
- 前回体調を崩して休んでしまったので、内容に追いつくまでちょっと大変でした。今後は体に気をつけて頑張ります。
- 文章が出来上がるまでの途中経過がわからないので、余計に難しかったです。
- 評価の指標を作るためには、今日の作業がとても大切になります。時間をかけ、じっくり話し合しましょう。
- 文章表現は難しい。今回はマイッタ。他人の作ったものに手を加えるのは大変である。私が前に参加した「生活環境」もかなり直されていた（泣）
- 目標を定める時には参加していなかったので、遠慮なく文句を言わせていただきました。でも、日本語は難しい事が、改めてわかりました。

○時間が足りません!!

- 国語力、表現力の欠如（悲）。文章力の無さ、気持ちを読み取れない。「まちづくりの方向性」の文面の無意味さ（未来会議の検討結果が通じてないような…）
- まちづくりの目標→まちづくりの方向性、そして目標すべき将来の姿へまとめている部分に無理に押し付けている文章がある。まちづくりの方向性の下の文章が固定化（決定）しているのが疑問点あり。
- 文章の理解力と国語力の無さを感じた。計画は分かり易い内容にすることが必要だと考える。
- 遅れて参加でしたので、追いつくまでは大変でしたが、何とかイケたと思います。もう少し議論したい箇所もあったので次回です。
- 前回の欠席で資料が届かず、追いつけなかった。大事な文言固めなので次回も継続するのは有難い。
- 人数が少なかったがその分グループワークは各人の意見が出て充実した。
- やっと楽しくなってきた。がんばります!!